

令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 千葉県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	循環器病センター	2	香取市	香取おみがわ医療センター	20
-	佐原病院	3	大網白里市	国保大網病院	21
-	精神科医療センター	4	多古町	国保多古中央病院	22
-	がんセンター	5	東庄町	国保東庄病院	23
-	救急医療センター	6	横芝光町	東陽病院	24
-	こども病院	7	鋸南町	国保鋸南病院	25
千葉市	青葉病院	8	組合立国保成東病院	国保成東病院	26
千葉市	海浜病院	9	国保国吉病院組合	いすみ医療センター	27
銚子市	銚子市立病院	10	君津中央病院企業団	君津中央病院	28
市川市	リハビリテーション病院	11	君津中央病院企業団	君津中央病院大佐和分院	29
船橋市	医療センター	12	長生郡市広域市町村圏組合(事業会計分)	公立長生病院	30
松戸市	松戸市立総合医療センター	13			
松戸市	福祉医療センター東松戸病院	14			
旭市	総合病院国保旭中央病院	15			
柏市	柏病院	16			
鴨川市	国保病院	17			
南房総市	南房総市立富山国保病院	18			
匝瑳市	国保匝瑳市民病院	19			

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 千葉県	
市町村・組合名					
病院名	循環器病センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	22,000 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	220	53.1	58.7	60.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	220	53.1	58.7	60.6
平均在院日数(一般病床のみ)		14.2	15.6	14.8

設立団体の状況		
人口(人)	6,284,480	
決算規模(千円)	2,161,766,122	
標準財政規模(千円)	1,080,552,064	
財政力指数	0.77845	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	135.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	60.3
修正医業収益(千円)	4,880,577

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,182,128			
1 経常収益	7,958,893			
(1) 医業収益	5,066,188			
入院収益	3,959,456			
外来収益	856,297			
診療収入計	4,815,753			
その他医業収益	250,435			
(うち他会計負担金)	185,611			
(2) 医業外収益	2,892,705			
(うち国・都道府県補助金)	928,424			
(うち他会計補助・負担金)	1,633,624			
(うち長期前受金戻入)	283,548			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	223,235			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,694,223			
2 経常費用	8,565,950			
(1) 医業費用	8,093,263			
職員給与費	4,569,729	90.2	62.1	66.1
材料費	1,798,233	35.5	25.3	19.8
(うち薬品費)	359,419	7.1	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,406,808	27.8	11.4	9.3
減価償却費	508,620	10.0	9.5	10.2
経費	1,165,460	23.0	22.7	28.2
(うち委託料)	724,694	14.3	12.6	13.6
研究研修費	15,108			
資産減耗費	36,113			
(2) 医業外費用	472,687			
(うち支払利息)	127,548	2.5	1.3	1.6
(3) 特別損失	128,273			
損益				
経常損益	-607,057			
純損益	-512,095			
累積欠損金	19,134,905			
経常収支比率	92.9		101.9	99.9
医業収支比率	62.6		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	22.9		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	35.9		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	22.2		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	71.7		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	72,776,421
1 固定資産	62,652,922
(1) 有形固定資産	58,027,105
(2) 無形固定資産	1,495,582
(3) 投資その他の資産	3,130,235
2 流動資産	10,123,499
(1) 現金及び預金	2,548,440
(2) 未収金及び未収収益	6,708,379
(3) 貸倒引当金()	24,048
(4) 貯蔵品	717,797
3 繰延資産	-
負債合計	71,331,126
1 固定負債	56,573,545
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	47,556,672
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	3,700,000
(6) 引当金	5,316,873
(7) リース債務	-
2 流動負債	10,296,431
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,125,393
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,588,185
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	6,332,178
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,461,150
(1) 長期前受金	26,869,132
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,407,982
資本合計	1,445,295
1 資本金	12,616,891
2 剰余金	-11,171,596
(1) 資本金剰余金	14,901,028
(2) 利益剰余金	-26,072,624
負債・資本合計	72,776,421
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,819,235	1,819,235
資本勘定繰入	855,405	855,405
計	2,674,640	2,674,640

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	384,509	1.1
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	73.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 千葉県	
市町村・組合名					
病院名	佐原病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	16,652 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨 災		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	237	47.1	49.9	52.9
療養	-	-	-	-
結核	4	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	241	46.4	49.1	52.0
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	15.6	16.1

設立団体の状況		
人口(人)	6,284,480	
決算規模(千円)	2,161,766,122	
標準財政規模(千円)	1,080,552,064	
財政力指数	0.77845	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	135.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,080,673			
1 経常収益	4,049,844			
(1) 医業収益	2,984,518			
入院収益	1,823,442			
外来収益	903,550			
診療収入計	2,726,992			
その他医業収益	257,526			
(うち他会計負担金)	194,489			
(2) 医業外収益	1,065,326			
(うち国・都道府県補助金)	370,931			
(うち他会計補助・負担金)	497,351			
(うち長期前受金戻入)	120,062			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	30,829			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,223,504			
2 経常費用	5,180,577			
(1) 医業費用	4,951,984			
職員給与費	3,324,692	111.4	62.1	66.1
材料費	530,223	17.8	25.3	19.8
(うち薬品費)	150,336	5.0	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	352,413	11.8	11.4	9.3
減価償却費	235,414	7.9	9.5	10.2
経費	831,461	27.9	22.7	28.2
(うち委託料)	414,325	13.9	12.6	13.6
研究研修費	6,300			
資産減耗費	23,894			
(2) 医業外費用	228,593			
(うち支払利息)	30,646	1.0	1.3	1.6
(3) 特別損失	42,927			
損益				
経常損益	-1,130,733			
純損益	-1,142,831			
累積欠損金	14,889,646			
経常収支比率	78.2		101.9	99.9
医業収支比率	60.3		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	17.1		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	23.2		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	17.0		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	64.8		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	72,776,421
1 固定資産	62,652,922
(1) 有形固定資産	58,027,105
(2) 無形固定資産	1,495,582
(3) 投資その他の資産	3,130,235
2 流動資産	10,123,499
(1) 現金及び預金	2,548,440
(2) 未収金及び未収収益	6,708,379
(3) 貸倒引当金()	24,048
(4) 貯蔵品	717,797
3 繰延資産	-
負債合計	71,331,126
1 固定負債	56,573,545
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	47,556,672
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	3,700,000
(6) 引当金	5,316,873
(7) リース債務	-
2 流動負債	10,296,431
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,125,393
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,588,185
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	6,332,178
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,461,150
(1) 長期前受金	26,869,132
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,407,982
資本合計	1,445,295
1 資本金	12,616,891
2 剰余金	-11,171,596
(1) 資本金剰余金	14,901,028
(2) 利益剰余金	-26,072,624
負債・資本合計	72,776,421
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	56.3
修正医業収益(千円)	2,790,029

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	691,840	691,840
資本勘定繰入	149,385	149,385
計	841,225	841,225

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	384,509	1.1
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	73.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名					
病院名 精神科医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	3,798 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	1	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	87.4	92.0	91.6
感染症	-	-	-	-
計	50	87.4	92.0	91.6
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	6,284,480	
決算規模(千円)	2,161,766,122	
標準財政規模(千円)	1,080,552,064	
財政力指数	0.77845	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	135.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	62.9
修正医業収益(千円)	886,849

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,538,963			
1 経常収益	1,529,640			
(1) 医業収益	988,869			
入院収益	545,780			
外来収益	335,830			
診療収入計	881,610			
その他医業収益	107,259			
(うち他会計負担金)	102,020			
(2) 医業外収益	540,771			
(うち国・都道府県補助金)	33,928			
(うち他会計補助・負担金)	466,140			
(うち長期前受金戻入)	24,974			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	9,323			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,468,966			
2 経常費用	1,459,619			
(1) 医業費用	1,410,124			
職員給与費	977,124	98.8	62.1	104.8
材料費	198,803	20.1	25.3	8.7
(うち薬品費)	177,835	18.0	13.5	6.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	7,638	0.8	11.4	1.3
減価償却費	46,844	4.7	9.5	13.5
経費	182,710	18.5	22.7	33.3
(うち委託料)	111,516	11.3	12.6	18.6
研究研修費	2,116			
資産減耗費	2,527			
(2) 医業外費用	49,495			
(うち支払利息)	44	-	1.3	2.7
(3) 特別損失	9,347			
損益				
経常損益	70,021			
純損益	69,997			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.8		101.9	101.4
医業収支比率	70.1		83.2	62.2
他会計繰入金対経常収益比率	37.1		12.3	34.2
他会計繰入金対医業収益比率	57.5		16.0	58.2
他会計繰入金対総収益比率	36.9		12.2	33.8
実質収益対経常費用比率	65.9		89.3	66.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	72,776,421
1 固定資産	62,652,922
(1) 有形固定資産	58,027,105
(2) 無形固定資産	1,495,582
(3) 投資その他の資産	3,130,235
2 流動資産	10,123,499
(1) 現金及び預金	2,548,440
(2) 未収金及び未収収益	6,708,379
(3) 貸倒引当金()	24,048
(4) 貯蔵品	717,797
3 繰延資産	-
負債合計	71,331,126
1 固定負債	56,573,545
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	47,556,672
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	3,700,000
(6) 引当金	5,316,873
(7) リース債務	-
2 流動負債	10,296,431
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,125,393
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,588,185
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	6,332,178
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,461,150
(1) 長期前受金	26,869,132
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,407,982
資本合計	1,445,295
1 資本金	12,616,891
2 剰余金	-11,171,596
(1) 資本金剰余金	14,901,028
(2) 利益剰余金	-26,072,624
負債・資本合計	72,776,421
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	568,160	568,160
資本勘定繰入	4,782	4,782
計	572,942	572,942

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	384,509	1.1
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	73.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 千葉県	
市町村・組合名					
病院名	がんセンター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Iガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	81,693 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨が		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	450	66.7	74.5	75.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	450	66.7	74.5	75.7
平均在院日数(一般病床のみ)		12.6	12.3	13.3

設立団体の状況		
人口(人)	6,284,480	
決算規模(千円)	2,161,766,122	
標準財政規模(千円)	1,080,552,064	
財政力指数	0.77845	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	135.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,087,946			
1 経常収益	17,030,827			
(1) 医業収益	12,844,134			
入院収益	6,254,663			
外来収益	5,873,038			
診療収入計	12,127,701			
その他医業収益	716,433			
(うち他会計負担金)	520,467			
(2) 医業外収益	4,186,693			
(うち国・都道府県補助金)	145,810			
(うち他会計補助・負担金)	3,272,503			
(うち長期前受金戻入)	359,972			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	57,119			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,566,720			
2 経常費用	17,496,862			
(1) 医業費用	16,534,976			
職員給与費	8,096,870	63.0	62.1	59.8
材料費	5,325,012	41.5	25.3	27.7
(うち薬品費)	3,738,817	29.1	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,517,987	11.8	11.4	12.4
減価償却費	587,523	4.6	9.5	8.2
経費	2,255,945	17.6	22.7	19.2
(うち委託料)	1,412,291	11.0	12.6	10.2
研究研修費	44,338			
資産減耗費	225,288			
(2) 医業外費用	961,886			
(うち支払利息)	9,762	0.1	1.3	1.2
(3) 特別損失	69,858			
損益				
経常損益	-466,035			
純損益	-478,774			
累積欠損金	1,295,108			
経常収支比率	97.3		101.9	103.7
医業収支比率	77.7		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	22.3		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	29.5		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	22.2		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	75.7		89.3	93.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	72,776,421
1 固定資産	62,652,922
(1) 有形固定資産	58,027,105
(2) 無形固定資産	1,495,582
(3) 投資その他の資産	3,130,235
2 流動資産	10,123,499
(1) 現金及び預金	2,548,440
(2) 未収金及び未収収益	6,708,379
(3) 貸倒引当金()	24,048
(4) 貯蔵品	717,797
3 繰延資産	-
負債合計	71,331,126
1 固定負債	56,573,545
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	47,556,672
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	3,700,000
(6) 引当金	5,316,873
(7) リース債務	-
2 流動負債	10,296,431
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,125,393
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,588,185
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	6,332,178
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,461,150
(1) 長期前受金	26,869,132
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,407,982
資本合計	1,445,295
1 資本金	12,616,891
2 剰余金	-11,171,596
(1) 資本金剰余金	14,901,028
(2) 利益剰余金	-26,072,624
負債・資本合計	72,776,421
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	74.5
修正医業収益(千円)	12,323,667

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	3,792,970	3,792,970
資本勘定繰入	268,466	268,466
計	4,061,436	4,061,436

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	384,509	1.1
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	73.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名					
病院名 救急医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	11,204 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	12	指定病院の状況	救臨 災		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	100	68.5	75.9	77.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	68.5	75.9	77.0
平均在院日数(一般病床のみ)		14.2	14.4	14.4

設立団体の状況		
人口(人)	6,284,480	
決算規模(千円)	2,161,766,122	
標準財政規模(千円)	1,080,552,064	
財政力指数	0.77845	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	135.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	57.9
修正医業収益(千円)	3,096,834

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,035,048			
1 経常収益	5,985,467			
(1) 医業収益	5,315,693			
入院収益	2,934,776			
外来収益	146,290			
診療収入計	3,081,066			
その他医業収益	2,234,627			
(うち他会計負担金)	2,218,859			
(2) 医業外収益	669,774			
(うち国・都道府県補助金)	337,986			
(うち他会計補助・負担金)	175,722			
(うち長期前受金戻入)	132,832			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	49,581			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,600,667			
2 経常費用	5,577,740			
(1) 医業費用	5,346,998			
職員給与費	3,293,400	62.0	62.1	67.4
材料費	1,021,347	19.2	25.3	17.7
(うち薬品費)	104,634	2.0	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	893,682	16.8	11.4	8.8
減価償却費	249,490	4.7	9.5	10.7
経費	748,650	14.1	22.7	29.2
(うち委託料)	461,612	8.7	12.6	13.9
研究研修費	9,380			
資産減耗費	24,731			
(2) 医業外費用	230,742			
(うち支払利息)	4,058	0.1	1.3	1.5
(3) 特別損失	22,927			
損益				
経常損益	407,727			
純損益	434,381			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.3		101.9	100.3
医業収支比率	99.4		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	40.0		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	45.0		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	39.7		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	64.4		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	72,776,421
1 固定資産	62,652,922
(1) 有形固定資産	58,027,105
(2) 無形固定資産	1,495,582
(3) 投資その他の資産	3,130,235
2 流動資産	10,123,499
(1) 現金及び預金	2,548,440
(2) 未収金及び未収収益	6,708,379
(3) 貸倒引当金()	24,048
(4) 貯蔵品	717,797
3 繰延資産	-
負債合計	71,331,126
1 固定負債	56,573,545
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	47,556,672
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	3,700,000
(6) 引当金	5,316,873
(7) リース債務	-
2 流動負債	10,296,431
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,125,393
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,588,185
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	6,332,178
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,461,150
(1) 長期前受金	26,869,132
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,407,982
資本合計	1,445,295
1 資本金	12,616,891
2 剰余金	-11,171,596
(1) 資本金剰余金	14,901,028
(2) 利益剰余金	-26,072,624
負債・資本合計	72,776,421
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,394,581	2,394,581
資本勘定繰入	95,836	95,836
計	2,490,417	2,490,417

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	384,509	1.1
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	73.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名					
病院名					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,269 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	218	57.1	63.1	65.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	218	57.1	63.1	65.5
平均在院日数(一般病床のみ)		11.2	11.2	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	6,284,480	
決算規模(千円)	2,161,766,122	
標準財政規模(千円)	1,080,552,064	
財政力指数	0.77845	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	135.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	68.8
修正医業収益(千円)	7,906,395

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,625,359			
1 経常収益	11,576,233			
(1) 医業収益	8,207,995			
入院収益	4,677,870			
外来収益	3,205,950			
診療収入計	7,883,820			
その他医業収益	324,175			
(うち他会計負担金)	301,600			
(2) 医業外収益	3,368,238			
(うち国・都道府県補助金)	184,641			
(うち他会計補助・負担金)	2,842,848			
(うち長期前受金戻入)	246,092			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	49,126			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,228,336			
2 経常費用	12,167,804			
(1) 医業費用	11,485,543			
職員給与費	5,806,472	70.7	62.1	66.1
材料費	3,693,536	45.0	25.3	19.8
(うち薬品費)	3,430,885	41.8	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	231,798	2.8	11.4	9.3
減価償却費	474,680	5.8	9.5	10.2
経費	1,448,404	17.6	22.7	28.2
(うち委託料)	910,726	11.1	12.6	13.6
研究研修費	21,258			
資産減耗費	41,193			
(2) 医業外費用	682,261			
(うち支払利息)	15,120	0.2	1.3	1.6
(3) 特別損失	60,532			
損益				
経常損益	-591,571			
純損益	-602,977			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.1		101.9	99.9
医業収支比率	71.5		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	27.2		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	38.3		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	27.0		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	69.3		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	72,776,421
1 固定資産	62,652,922
(1) 有形固定資産	58,027,105
(2) 無形固定資産	1,495,582
(3) 投資その他の資産	3,130,235
2 流動資産	10,123,499
(1) 現金及び預金	2,548,440
(2) 未収金及び未収収益	6,708,379
(3) 貸倒引当金()	24,048
(4) 貯蔵品	717,797
3 繰延資産	-
負債合計	71,331,126
1 固定負債	56,573,545
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	47,556,672
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	3,700,000
(6) 引当金	5,316,873
(7) リース債務	-
2 流動負債	10,296,431
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,125,393
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,588,185
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	6,332,178
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,461,150
(1) 長期前受金	26,869,132
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,407,982
資本合計	1,445,295
1 資本金	12,616,891
2 剰余金	-11,171,596
(1) 資本金剰余金	14,901,028
(2) 利益剰余金	-26,072,624
負債・資本合計	72,776,421
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	3,144,448	3,144,448
資本勘定繰入	367,829	367,829
計	3,512,277	3,512,277

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	384,509	1.1
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	73.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 千葉県	
市町村・組合名	千葉市				
病院名	青葉病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	34,012 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7 : 1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	307	76.1	85.7	81.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	56	65.8	74.5	62.5
感染症	6	62.4	48.5	25.8
計	369	74.3	83.4	77.3
平均在院日数(一般病床のみ)		11.5	11.5	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	974,951	
決算規模(千円)	575,225,264	
標準財政規模(千円)	254,976,902	
財政力指数	0.93	
経常収支比率(%)	97.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	128.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,600,474			
1 経常収益	13,114,466			
(1) 医業収益	9,090,794			
入院収益	6,068,320			
外来収益	2,634,491			
診療収入計	8,702,811			
その他医業収益	387,983			
(うち他会計負担金)	234,334			
(2) 医業外収益	4,023,672			
(うち国・都道府県補助金)	1,080,710			
(うち他会計補助・負担金)	2,281,437			
(うち長期前受金戻入)	4,242			
(うち資本費繰入収益)	452,235			
(3) 特別利益	486,008			
(うち他会計繰入金)	187,940			
総費用	12,926,868			
2 経常費用	12,167,873			
(1) 医業費用	11,410,758			
職員給与費	6,128,082	67.4	62.1	63.5
材料費	2,713,888	29.9	25.3	24.9
(うち薬品費)	1,598,727	17.6	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,114,012	12.3	11.4	11.8
減価償却費	776,878	8.5	9.5	10.0
経費	1,770,469	19.5	22.7	21.7
(うち委託料)	1,072,937	11.8	12.6	12.2
研究研修費	18,610			
資産減耗費	2,831			
(2) 医業外費用	757,115			
(うち支払利息)	232,240	2.6	1.3	1.4
(3) 特別損失	758,995			
損益				
経常損益	946,593			
純損益	673,606			
累積欠損金	3,392,357			
経常収支比率	107.8		101.9	101.7
医業収支比率	79.7		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	19.2		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	27.7		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	19.9		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	87.1		89.3	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,274,092
1 固定資産	17,256,073
(1) 有形固定資産	17,091,646
(2) 無形固定資産	36,684
(3) 投資その他の資産	127,743
2 流動資産	7,018,019
(1) 現金及び預金	2,960,601
(2) 未収金及び未収収益	3,953,100
(3) 貸倒引当金()	23,872
(4) 貯蔵品	113,198
3 繰延資産	-
負債合計	24,495,026
1 固定負債	17,989,334
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,792,253
(2) その他の企業債	507,366
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,200,000
(6) 引当金	2,443,277
(7) リース債務	46,438
2 流動負債	5,528,474
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,941,390
(2) その他の企業債	30,636
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	405,749
(6) リース債務	56,419
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,985,889
(9) 前受金及び前受収益	26
3 繰延収益	977,218
(1) 長期前受金	6,508,133
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,530,915
資本合計	-220,934
1 資本金	5,745,316
2 剰余金	-5,966,250
(1) 資本金剰余金	1,467,899
(2) 利益剰余金	-7,434,149
負債・資本合計	24,274,092
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	220,934
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.6
修正医業収益(千円)	8,856,460

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,299,594	2,703,711
資本勘定繰入	940,094	940,261
計	3,239,688	3,643,972

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名	千葉市				
病院名	海浜病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,849 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	293	57.8	63.4	61.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	293	57.8	63.4	61.7
平均在院日数(一般病床のみ)		7.9	7.7	7.6

設立団体の状況		
人口(人)	974,951	
決算規模(千円)	575,225,264	
標準財政規模(千円)	254,976,902	
財政力指数	0.93	
経常収支比率(%)	97.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	128.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	73.0
修正医業収益(千円)	6,355,350

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,710,623			
1 経常収益	9,574,615			
(1) 医業収益	6,731,796			
入院収益	4,682,687			
外来収益	1,535,907			
診療収入計	6,218,594			
その他医業収益	513,202			
(うち他会計負担金)	376,446			
(2) 医業外収益	2,842,819			
(うち国・都道府県補助金)	976,447			
(うち他会計補助・負担金)	1,263,855			
(うち長期前受金戻入)	35,193			
(うち資本費繰入収益)	427,176			
(3) 特別利益	136,008			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,227,891			
2 経常費用	9,049,334			
(1) 医業費用	8,703,893			
職員給与費	4,981,082	74.0	62.1	66.1
材料費	1,135,971	16.9	25.3	19.8
(うち薬品費)	542,547	8.1	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	591,884	8.8	11.4	9.3
減価償却費	808,468	12.0	9.5	10.2
経費	1,752,376	26.0	22.7	28.2
(うち委託料)	1,019,199	15.1	12.6	13.6
研究研修費	20,751			
資産減耗費	5,245			
(2) 医業外費用	345,441			
(うち支払利息)	9,006	0.1	1.3	1.6
(3) 特別損失	178,557			
損益				
経常損益	525,281			
純損益	482,732			
累積欠損金	4,041,792			
経常収支比率	105.8		101.9	99.9
医業収支比率	77.3		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	17.1		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	24.4		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	16.9		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	87.7		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,274,092
1 固定資産	17,256,073
(1) 有形固定資産	17,091,646
(2) 無形固定資産	36,684
(3) 投資その他の資産	127,743
2 流動資産	7,018,019
(1) 現金及び預金	2,960,601
(2) 未収金及び未収収益	3,953,100
(3) 貸倒引当金()	23,872
(4) 貯蔵品	113,198
3 繰延資産	-
負債合計	24,495,026
1 固定負債	17,989,334
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,792,253
(2) その他の企業債	507,366
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,200,000
(6) 引当金	2,443,277
(7) リース債務	46,438
2 流動負債	5,528,474
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,941,390
(2) その他の企業債	30,636
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	405,749
(6) リース債務	56,419
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,985,889
(9) 前受金及び前受収益	26
3 繰延収益	977,218
(1) 長期前受金	6,508,133
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,530,915
資本合計	-220,934
1 資本金	5,745,316
2 剰余金	-5,966,250
(1) 資本金剰余金	1,467,899
(2) 利益剰余金	-7,434,149
負債・資本合計	24,274,092
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	220,934
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,532,205	1,640,301
資本勘定繰入	446,993	447,160
計	1,979,198	2,087,461

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	47.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名	銚子市				
病院名	銚子市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	18,960 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	12	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	148	33.4	33.8	32.3
療養	38	96.0	95.0	95.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	186	46.2	46.3	32.3
平均在院日数(一般病床のみ)		17.9	21.7	21.0

設立団体の状況		
人口(人)	58,431	
決算規模(千円)	34,747,578	
標準財政規模(千円)	14,748,118	
財政力指数	0.62	
経常収支比率(%)	92.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.2
	将来負担比率(%)	115.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	608,121			
1 経常収益	608,121			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	608,121			
(うち国・都道府県補助金)	150,000			
(うち他会計補助・負担金)	438,047			
(うち長期前受金戻入)	13,015			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	608,121			
2 経常費用	608,121			
(1) 医業費用	606,782			
職員給与費	5,791	-	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	121,100	-	9.5	10.7
経費	475,098	-	22.7	29.2
(うち委託料)	7,921	-	12.6	13.9
研究研修費	-			
資産減耗費	4,793			
(2) 医業外費用	1,339			
(うち支払利息)	1,339	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	2,150,340			
経常収支比率	100.0		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	72.0		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	72.0		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	28.0		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,687,757
1 固定資産	1,605,784
(1) 有形固定資産	1,599,899
(2) 無形固定資産	5,085
(3) 投資その他の資産	800
2 流動資産	81,973
(1) 現金及び預金	80,641
(2) 未収金及び未収収益	1,332
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	569,318
1 固定負債	270,940
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	268,344
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	2,596
2 流動負債	128,672
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	74,300
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	4,360
(4) その他の長期借入金	5,640
(5) 引当金	470
(6) リース債務	1,324
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	38,578
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	169,706
(1) 長期前受金	788,648
(2) 長期前受金収益化累計額()	618,942
資本合計	1,118,439
1 資本金	3,253,944
2 剰余金	-2,135,505
(1) 資本金剰余金	14,835
(2) 利益剰余金	-2,150,340
負債・資本合計	1,687,757
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,011	438,047
資本勘定繰入	41,403	10,822
計	42,414	448,869

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名	市川市				
病院名	リハビリテーション病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	58.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	58.9
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	76.4

設立団体の状況		
人口(人)	496,676	
決算規模(千円)	215,916,018	
標準財政規模(千円)	91,676,215	
財政力指数	1.09	
経常収支比率(%)	90.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	29,755			
1 経常収益	29,755			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	29,755			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	29,755			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	29,755			
2 経常費用	29,755			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	-	-	9.5	10.7
経費	-	-	22.7	29.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	29,755			
(うち支払利息)	29,755	-	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	100.3
医業収支比率	-		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	-		89.3	84.8

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	19,837	29,755
資本勘定繰入	108,774	163,161
計	128,611	192,916

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				千葉県
市町村・組合名	船橋市			
病院名	医療センター			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓ガ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	35,581 m ²	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	31	指定病院の状況	救臨が 災地	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	400床以上~500床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	449	75.3	84.3	83.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	449	75.3	84.3	83.1
平均在院日数(一般病床のみ)		10.2	9.7	9.6

設立団体の状況		
人口(人)	642,907	
決算規模(千円)	282,207,842	
標準財政規模(千円)	119,445,097	
財政力指数	0.96	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.9
	将来負担比率(%)	24.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,111,992			
1 経常収益	17,845,570			
(1) 医業収益	15,142,765			
入院収益	10,385,244			
外来収益	3,911,717			
診療収入計	14,296,961			
その他医業収益	845,804			
(うち他会計負担金)	737,418			
(2) 医業外収益	2,702,805			
(うち国・都道府県補助金)	1,581,847			
(うち他会計補助・負担金)	777,134			
(うち長期前受金戻入)	224,602			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	266,422			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,310,594			
2 経常費用	17,236,937			
(1) 医業費用	16,429,635			
職員給与費	8,887,061	58.7	62.1	59.8
材料費	4,140,689	27.3	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,805,393	11.9	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,328,235	15.4	11.4	12.4
減価償却費	1,009,850	6.7	9.5	8.2
経費	2,290,649	15.1	22.7	19.2
(うち委託料)	1,405,384	9.3	12.6	10.2
研究研修費	38,787			
資産減耗費	62,599			
(2) 医業外費用	807,302			
(うち支払利息)	136,884	0.9	1.3	1.2
(3) 特別損失	73,657			
損益				
経常損益	608,633			
純損益	801,398			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.5		101.9	103.7
医業収支比率	92.2		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	8.5		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	10.0		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	8.4		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	94.7		89.3	93.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,219,018
1 固定資産	12,255,159
(1) 有形固定資産	11,339,073
(2) 無形固定資産	682,404
(3) 投資その他の資産	233,682
2 流動資産	11,963,859
(1) 現金及び預金	9,223,226
(2) 未収金及び未収収益	2,708,838
(3) 貸倒引当金()	3,279
(4) 貯蔵品	35,074
3 繰延資産	-
負債合計	10,497,951
1 固定負債	5,985,036
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,215,296
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,751,421
(7) リース債務	18,319
2 流動負債	3,732,562
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,004,581
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	525,248
(6) リース債務	9,310
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,118,154
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	780,353
(1) 長期前受金	5,634,154
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,853,801
資本合計	13,721,067
1 資本金	7,107,417
2 剰余金	6,613,650
(1) 資本金剰余金	705,672
(2) 利益剰余金	5,907,978
負債・資本合計	24,219,018
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.7
修正医業収益(千円)	14,405,347

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,613,873	1,514,552
資本勘定繰入	998,129	515,730
計	2,612,002	2,030,282

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名	松戸市				
病院名	松戸市立総合医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	47,021 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	35	指定病院の状況	救臨が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	592	68.3	83.1	84.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	8	73.3	8.0	6.4
計	600	68.4	82.1	83.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	12.1	12.8

設立団体の状況		
人口(人)	498,232	
決算規模(千円)	207,271,089	
標準財政規模(千円)	90,471,061	
財政力指数	0.90	
経常収支比率(%)	93.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.0
	将来負担比率(%)	2.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.3
修正医業収益(千円)	16,007,268

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	21,998,480			
1 経常収益	21,585,011			
(1) 医業収益	16,245,028			
入院収益	10,636,225			
外来収益	5,032,974			
診療収入計	15,669,199			
その他医業収益	575,829			
(うち他会計負担金)	237,760			
(2) 医業外収益	5,339,983			
(うち国・都道府県補助金)	3,182,453			
(うち他会計補助・負担金)	1,879,198			
(うち長期前受金戻入)	88,754			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	413,469			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	22,291,361			
2 経常費用	22,148,082			
(1) 医業費用	20,715,767			
職員給与費	10,516,926	64.7	62.1	55.8
材料費	4,695,533	28.9	25.3	29.8
(うち薬品費)	2,756,311	17.0	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,939,222	11.9	11.4	13.0
減価償却費	1,741,542	10.7	9.5	8.7
経費	3,652,392	22.5	22.7	19.7
(うち委託料)	1,465,666	9.0	12.6	12.6
研究研修費	38,914			
資産減耗費	70,460			
(2) 医業外費用	1,432,315			
(うち支払利息)	129,511	0.8	1.3	1.2
(3) 特別損失	143,279			
損益				
経常損益	-563,071			
純損益	-292,881			
累積欠損金	9,701,350			
経常収支比率	97.5		101.9	102.5
医業収支比率	78.4		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	9.8		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	13.0		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	9.6		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	87.9		89.3	93.2

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	40,826,414
1 固定資産	30,374,006
(1) 有形固定資産	28,729,717
(2) 無形固定資産	10,778
(3) 投資その他の資産	1,633,511
2 流動資産	10,452,408
(1) 現金及び預金	6,371,300
(2) 未収金及び未収収益	4,050,917
(3) 貸倒引当金()	33,825
(4) 貯蔵品	63,803
3 繰延資産	-
負債合計	28,666,984
1 固定負債	22,109,702
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	19,826,276
(2) その他の企業債	86,700
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,196,726
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,953,993
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,423,461
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	716,769
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,678,488
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,603,289
(1) 長期前受金	3,801,943
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,198,654
資本合計	12,159,430
1 資本金	22,411,033
2 剰余金	-10,251,603
(1) 資本金剰余金	322,255
(2) 利益剰余金	-10,573,858
負債・資本合計	40,826,414
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,977,541	2,116,958
資本勘定繰入	728,071	778,822
計	2,705,612	2,895,780

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	59.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				千葉県
市町村・組合名	松戸市			
病院名	福祉医療センター東松戸病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	13,063 m ²	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	11	指定病院の状況		
許可公営企業		看護配置	15:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	100床以上~200床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	181	62.9	77.8	72.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	181	62.9	77.8	72.2
平均在院日数(一般病床のみ)		51.2	48.7	50.4

設立団体の状況		
人口(人)	498,232	
決算規模(千円)	207,271,089	
標準財政規模(千円)	90,471,061	
財政力指数	0.90	
経常収支比率(%)	93.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.0
	将来負担比率(%)	2.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,277,406			
1 経常収益	2,277,406			
(1) 医業収益	1,556,218			
入院収益	1,276,256			
外来収益	178,159			
診療収入計	1,454,415			
その他医業収益	101,803			
(うち他会計負担金)	33,911			
(2) 医業外収益	721,188			
(うち国・都道府県補助金)	58,281			
(うち他会計補助・負担金)	478,077			
(うち長期前受金戻入)	9,309			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,523,556			
2 経常費用	2,523,556			
(1) 医業費用	2,232,842			
職員給与費	1,615,193	103.8	62.1	67.4
材料費	87,022	5.6	25.3	17.7
(うち薬品費)	42,659	2.7	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	44,363	2.9	11.4	8.8
減価償却費	70,816	4.6	9.5	10.7
経費	457,545	29.4	22.7	29.2
(うち委託料)	251,266	16.1	12.6	13.9
研究研修費	1,175			
資産減耗費	1,091			
(2) 医業外費用	290,714			
(うち支払利息)	3,925	0.3	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-246,150			
純損益	-246,150			
累積欠損金	880,334			
経常収支比率	90.2		101.9	100.3
医業収支比率	69.7		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	22.5		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	32.9		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	22.5		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	70.0		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	40,826,414
1 固定資産	30,374,006
(1) 有形固定資産	28,729,717
(2) 無形固定資産	10,778
(3) 投資その他の資産	1,633,511
2 流動資産	10,452,408
(1) 現金及び預金	6,371,300
(2) 未収金及び未収収益	4,050,917
(3) 貸倒引当金()	33,825
(4) 貯蔵品	63,803
3 繰延資産	-
負債合計	28,666,984
1 固定負債	22,109,702
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	19,826,276
(2) その他の企業債	86,700
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,196,726
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,953,993
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,423,461
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	716,769
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,678,488
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,603,289
(1) 長期前受金	3,801,943
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,198,654
資本合計	12,159,430
1 資本金	22,411,033
2 剰余金	-10,251,603
(1) 資本金剰余金	322,255
(2) 利益剰余金	-10,573,858
負債・資本合計	40,826,414
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	68.2
修正医業収益(千円)	1,522,307

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	145,141	511,988
資本勘定繰入	27,951	28,640
計	173,092	540,628

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	59.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名	旭市				
病院名	総合病院国保旭中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	63,745	
決算規模(千円)	45,576,459	
標準財政規模(千円)	18,057,203	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	91.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収	全国平均	類似平均
総収益	357,992			
1 経常収益	357,992			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	357,992			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	357,992			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	357,992			
2 経常費用	357,992			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	55.8
材料費	-	-	25.3	29.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	13.0
減価償却費	-	-	9.5	8.7
経費	-	-	22.7	19.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.6
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	357,992			
(うち支払利息)	357,992	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	102.5
医業収支比率	-		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	-		89.3	93.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	178,996	357,992
資本勘定繰入	678,988	1,357,976
計	857,984	1,715,968

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 千葉県	
市町村・組合名	柏市				
病院名	柏病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,250 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	200	56.9	75.8	78.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	200	56.9	75.8	78.3
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	15.1	15.7

設立団体の状況		
人口(人)	426,468	
決算規模(千円)	180,740,006	
標準財政規模(千円)	81,265,849	
財政力指数	0.96	
経常収支比率(%)	90.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	323,718			
1 経常収益	323,718			
(1) 医業収益	63,000			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	63,000			
(うち他会計負担金)	63,000			
(2) 医業外収益	260,718			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	178,674			
(うち長期前受金戻入)	7,300			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	411,737			
2 経常費用	323,718			
(1) 医業費用	298,733			
職員給与費	18,993	30.1	62.1	66.1
材料費	-	-	25.3	19.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	9.3
減価償却費	71,850	114.0	9.5	10.2
経費	206,374	327.6	22.7	28.2
(うち委託料)	1,970	3.1	12.6	13.6
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	1,516	-	-	-
(2) 医業外費用	24,985	-	-	-
(うち支払利息)	24,985	39.7	1.3	1.6
(3) 特別損失	88,019	-	-	-
損益				
経常損益	-			
純損益	-88,019			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	99.9
医業収支比率	21.1		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	74.7		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	383.6		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	74.7		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	25.3		89.3	86.6

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,141,858
1 固定資産	2,835,765
(1) 有形固定資産	2,835,765
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,306,093
(1) 現金及び預金	1,977,888
(2) 未収金及び未収収益	328,205
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	757,896
1 固定負債	491,085
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	474,610
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	16,475
(7) リース債務	-
2 流動負債	183,119
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	174,923
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,059
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	6,937
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	83,692
(1) 長期前受金	338,448
(2) 長期前受金収益化累計額()	254,756
資本合計	4,383,962
1 資本金	4,140,791
2 剰余金	243,171
(1) 資本金剰余金	127,482
(2) 利益剰余金	115,689
負債・資本合計	5,141,858
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	239,548	241,674
資本勘定繰入	112,103	112,103
計	351,651	353,777

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 千葉県	
市町村・組合名	鴨川市				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,468 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	52	60.3	59.8	50.2
療養	18	92.3	88.3	91.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	70	68.5	67.1	60.7
平均在院日数(一般病床のみ)		32.9	30.5	23.0

設立団体の状況		
人口(人)	32,116	
決算規模(千円)	20,937,734	
標準財政規模(千円)	9,775,013	
財政力指数	0.53	
経常収支比率(%)	98.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.3
	将来負担比率(%)	98.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,013,794			
1 経常収益	1,001,249			
(1) 医業収益	829,477			
入院収益	471,435			
外来収益	250,831			
診療収入計	722,266			
その他医業収益	107,211			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	171,772			
(うち国・都道府県補助金)	12,561			
(うち他会計補助・負担金)	147,574			
(うち長期前受金戻入)	3,382			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	12,545			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	924,856			
2 経常費用	917,502			
(1) 医業費用	891,458			
職員給与費	648,542	78.2	62.1	78.9
材料費	65,015	7.8	25.3	15.6
(うち薬品費)	20,743	2.5	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	41,276	5.0	11.4	6.0
減価償却費	29,499	3.6	9.5	11.7
経費	147,037	17.7	22.7	31.2
(うち委託料)	77,280	9.3	12.6	14.3
研究研修費	871			
資産減耗費	494			
(2) 医業外費用	26,044			
(うち支払利息)	2,108	0.3	1.3	1.7
(3) 特別損失	7,354			
損益				
経常損益	83,747			
純損益	88,938			
累積欠損金	-			
経常収支比率	109.1		101.9	100.3
医業収支比率	93.0		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	14.7		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	17.8		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	14.6		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	93.0		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,844,888
1 固定資産	2,978,160
(1) 有形固定資産	2,750,448
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	227,712
2 流動資産	866,728
(1) 現金及び預金	324,782
(2) 未収金及び未収収益	538,152
(3) 貸倒引当金()	336
(4) 貯蔵品	4,130
3 繰延資産	-
負債合計	2,833,158
1 固定負債	1,848,745
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,726,075
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	38,598
(7) リース債務	84,072
2 流動負債	679,467
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	49,297
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	33,147
(6) リース債務	17,768
(7) 一時借入金	190,100
(8) 未払金及び未払費用	389,155
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	304,946
(1) 長期前受金	454,844
(2) 長期前受金収益化累計額()	149,898
資本合計	1,011,730
1 資本金	942,102
2 剰余金	69,628
(1) 資本金剰余金	23,799
(2) 利益剰余金	45,829
負債・資本合計	3,844,888
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.0
修正医業収益(千円)	829,477

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	183,204	147,574
資本勘定繰入	329,259	492,586
計	512,463	640,160

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名	南房総市				
病院名	南房総市立富山国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,401 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救感輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	47	33.2	69.0	59.9
療養	-	-	-	82.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	51	30.6	63.6	60.4
平均在院日数(一般病床のみ)		14.9	24.1	16.0

設立団体の状況		
人口(人)	35,831	
決算規模(千円)	32,295,136	
標準財政規模(千円)	14,370,193	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	90.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,092,651			
1 経常収益	1,079,153			
(1) 医業収益	270,491			
入院収益	172,396			
外来収益	78,664			
診療収入計	251,060			
その他医業収益	19,431			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	808,662			
(うち国・都道府県補助金)	682,118			
(うち他会計補助・負担金)	94,382			
(うち長期前受金戻入)	9,628			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	13,498			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	594,431			
2 経常費用	581,831			
(1) 医業費用	568,210			
職員給与費	373,214	138.0	62.1	78.9
材料費	25,962	9.6	25.3	15.6
(うち薬品費)	7,136	2.6	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	13,424	5.0	11.4	6.0
減価償却費	37,693	13.9	9.5	11.7
経費	96,990	35.9	22.7	31.2
(うち委託料)	30,606	11.3	12.6	14.3
研究研修費	32,599			
資産減耗費	1,752			
(2) 医業外費用	13,621			
(うち支払利息)	101	-	1.3	1.7
(3) 特別損失	12,600			
損益				
経常損益	497,322			
純損益	498,220			
累積欠損金	-			
経常収支比率	185.5		101.9	100.3
医業収支比率	47.6		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	8.7		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	34.9		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	8.6		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	169.3		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,436,347
1 固定資産	564,252
(1) 有形固定資産	564,252
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	872,095
(1) 現金及び預金	470,085
(2) 未収金及び未収収益	398,862
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	3,148
3 繰延資産	-
負債合計	340,431
1 固定負債	31,876
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	31,876
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	64,811
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,129
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	27,502
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	23,115
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	243,744
(1) 長期前受金	336,928
(2) 長期前受金収益化累計額()	93,184
資本合計	1,095,916
1 資本金	883,850
2 剰余金	212,066
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	212,066
負債・資本合計	1,436,347
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	47.6
修正医業収益(千円)	270,491

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	93,772	94,382
資本勘定繰入	6,228	6,228
計	100,000	100,610

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名	匝瑳市				
病院名	国保匝瑳市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,795 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	17	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	99	57.1	62.9	53.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	57.1	62.9	53.7
平均在院日数(一般病床のみ)		17.2	17.3	17.0

設立団体の状況		
人口(人)	35,040	
決算規模(千円)	22,131,873	
標準財政規模(千円)	9,790,773	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	94.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.8
	将来負担比率(%)	24.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	72.6
修正医業収益(千円)	1,458,663

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,805,600			
1 経常収益	2,775,945			
(1) 医業収益	1,505,030			
入院収益	703,761			
外来収益	683,233			
診療収入計	1,386,994			
その他医業収益	118,036			
(うち他会計負担金)	46,367			
(2) 医業外収益	1,270,915			
(うち国・都道府県補助金)	270,014			
(うち他会計補助・負担金)	401,459			
(うち長期前受金戻入)	53,350			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	29,655			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,897,349			
2 経常費用	2,678,398			
(1) 医業費用	2,010,406			
職員給与費	1,270,166	84.4	62.1	78.9
材料費	172,429	11.5	25.3	15.6
(うち薬品費)	110,762	7.4	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	61,509	4.1	11.4	6.0
減価償却費	104,612	7.0	9.5	11.7
経費	443,948	29.5	22.7	31.2
(うち委託料)	254,563	16.9	12.6	14.3
研究研修費	1,407			
資産減耗費	17,844			
(2) 医業外費用	667,992			
(うち支払利息)	11,029	0.7	1.3	1.7
(3) 特別損失	218,951			
損益				
経常損益	97,547			
純損益	-91,749			
累積欠損金	2,370,769			
経常収支比率	103.6		101.9	100.3
医業収支比率	74.9		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	16.1		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	29.8		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	16.0		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	86.9		89.3	76.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,556,315
1 固定資産	1,789,980
(1) 有形固定資産	1,667,259
(2) 無形固定資産	88,372
(3) 投資その他の資産	34,349
2 流動資産	766,335
(1) 現金及び預金	435,939
(2) 未収金及び未収収益	323,277
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	7,119
3 繰延資産	-
負債合計	1,568,366
1 固定負債	904,356
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	785,756
(2) その他の企業債	50,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	68,600
2 流動負債	298,281
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	98,758
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	96,023
(6) リース債務	13,850
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	77,828
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	365,729
(1) 長期前受金	1,226,687
(2) 長期前受金収益化累計額()	860,958
資本合計	987,949
1 資本金	3,234,711
2 剰余金	-2,246,762
(1) 資本金剰余金	112,507
(2) 利益剰余金	-2,359,269
負債・資本合計	2,556,315
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	405,771	447,826
資本勘定繰入	61,302	105,654
計	467,073	553,480

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	157.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名	香取市				
病院名	香取おみがわ医療センター				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,159 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	100	77.1	84.0	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	77.1	84.0	-
平均在院日数(一般病床のみ)		10.1	11.4	-

設立団体の状況		
人口(人)	72,356	
決算規模(千円)	40,678,102	
標準財政規模(千円)	20,335,898	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	88.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.4
	将来負担比率(%)	37.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.1
修正医業収益(千円)	2,709,178

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,380,655			
1 経常収益	3,335,496			
(1) 医業収益	2,821,701			
入院収益	1,712,253			
外来収益	917,665			
診療収入計	2,629,918			
その他医業収益	191,783			
(うち他会計負担金)	112,523			
(2) 医業外収益	513,795			
(うち国・都道府県補助金)	49,695			
(うち他会計補助・負担金)	311,720			
(うち長期前受金戻入)	120,638			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	45,159			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,468,435			
2 経常費用	3,455,060			
(1) 医業費用	3,219,702			
職員給与費	1,696,682	60.1	62.1	67.4
材料費	706,517	25.0	25.3	17.7
(うち薬品費)	136,929	4.9	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	569,588	20.2	11.4	8.8
減価償却費	382,172	13.5	9.5	10.7
経費	429,783	15.2	22.7	29.2
(うち委託料)	242,343	8.6	12.6	13.9
研究研修費	1,962			
資産減耗費	2,586			
(2) 医業外費用	235,358			
(うち支払利息)	14,758	0.5	1.3	1.5
(3) 特別損失	13,375			
損益				
経常損益	-119,564			
純損益	-87,780			
累積欠損金	75,073			
経常収支比率	96.5		101.9	100.3
医業収支比率	87.6		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	12.7		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	15.0		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	12.5		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	84.3		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,642,357
1 固定資産	7,273,940
(1) 有形固定資産	6,763,681
(2) 無形固定資産	1,073
(3) 投資その他の資産	509,186
2 流動資産	1,368,417
(1) 現金及び預金	864,709
(2) 未収金及び未収収益	481,757
(3) 貸倒引当金()	388
(4) 貯蔵品	22,289
3 繰延資産	-
負債合計	7,232,335
1 固定負債	5,991,022
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,987,608
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	3,414
2 流動負債	646,387
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	362,965
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	107,708
(6) リース債務	2,409
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	170,527
(9) 前受金及び前受収益	2,778
3 繰延収益	594,926
(1) 長期前受金	750,602
(2) 長期前受金収益化累計額()	155,676
資本合計	1,410,022
1 資本金	1,483,501
2 剰余金	-73,479
(1) 資本金剰余金	1,594
(2) 利益剰余金	-75,073
負債・資本合計	8,642,357
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	357,320	424,243
資本勘定繰入	96,117	96,086
計	453,437	520,329

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 千葉県	
市町村・組合名	大網白里市				
病院名	国保大網病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,856 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	99	77.2	82.4	80.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	77.2	82.4	80.3
平均在院日数(一般病床のみ)		16.3	17.8	13.5

設立団体の状況		
人口(人)	48,129	
決算規模(千円)	20,941,874	
標準財政規模(千円)	10,093,747	
財政力指数	0.63	
経常収支比率(%)	99.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.6
	将来負担比率(%)	79.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.0
修正医業収益(千円)	2,097,304

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,831,676			
1 経常収益	2,786,926			
(1) 医業収益	2,212,245			
入院収益	1,204,828			
外来収益	788,339			
診療収入計	1,993,167			
その他医業収益	219,078			
(うち他会計負担金)	114,941			
(2) 医業外収益	574,681			
(うち国・都道府県補助金)	308,177			
(うち他会計補助・負担金)	196,882			
(うち長期前受金戻入)	36,570			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	44,750			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,685,367			
2 経常費用	2,640,617			
(1) 医業費用	2,495,615			
職員給与費	1,299,566	58.7	62.1	78.9
材料費	645,288	29.2	25.3	15.6
(うち薬品費)	460,260	20.8	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	183,570	8.3	11.4	6.0
減価償却費	81,871	3.7	9.5	11.7
経費	463,484	21.0	22.7	31.2
(うち委託料)	236,996	10.7	12.6	14.3
研究研修費	1,076			
資産減耗費	4,330			
(2) 医業外費用	145,002			
(うち支払利息)	22,661	1.0	1.3	1.7
(3) 特別損失	44,750			
損益				
経常損益	146,309			
純損益	146,309			
累積欠損金	2,003,632			
経常収支比率	105.5		101.9	100.3
医業収支比率	88.6		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	11.2		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	14.1		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	11.0		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	93.7		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,879,440
1 固定資産	1,352,921
(1) 有形固定資産	1,352,780
(2) 無形固定資産	141
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	526,519
(1) 現金及び預金	142,071
(2) 未収金及び未収収益	369,296
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	15,152
3 繰延資産	-
負債合計	1,425,520
1 固定負債	612,469
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	611,701
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	768
(7) リース債務	-
2 流動負債	365,081
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	157,698
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	62,830
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	144,053
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	447,970
(1) 長期前受金	1,013,500
(2) 長期前受金収益化累計額()	565,530
資本合計	453,920
1 資本金	2,444,409
2 剰余金	-1,990,489
(1) 資本剰余金	13,143
(2) 利益剰余金	-2,003,632
負債・資本合計	1,879,440
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	400,791	311,823
資本勘定繰入	119,961	106,465
計	520,752	418,288

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	90.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名	多古町				
病院名	国保多古中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,233 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	105	47.0	64.9	71.6
療養	-	-	77.4	80.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	105	47.0	69.2	74.6
平均在院日数(一般病床のみ)		20.0	21.1	20.4

設立団体の状況		
人口(人)	13,735	
決算規模(千円)	8,941,081	
標準財政規模(千円)	4,553,089	
財政力指数	0.61	
経常収支比率(%)	90.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	58.2
修正医業収益(千円)	1,240,941

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,312,154			
1 経常収益	2,312,154			
(1) 医業収益	1,367,868			
入院収益	712,128			
外来収益	441,857			
診療収入計	1,153,985			
その他医業収益	213,883			
(うち他会計負担金)	126,927			
(2) 医業外収益	944,286			
(うち国・都道府県補助金)	435,721			
(うち他会計補助・負担金)	346,948			
(うち長期前受金戻入)	132,372			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,233,977			
2 経常費用	2,233,977			
(1) 医業費用	2,130,718			
職員給与費	1,317,465	96.3	62.1	67.4
材料費	123,392	9.0	25.3	17.7
(うち薬品費)	65,357	4.8	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	57,984	4.2	11.4	8.8
減価償却費	215,838	15.8	9.5	10.7
経費	470,953	34.4	22.7	29.2
(うち委託料)	276,171	20.2	12.6	13.9
研究研修費	1,863			
資産減耗費	1,207			
(2) 医業外費用	103,259			
(うち支払利息)	23,500	1.7	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	78,177			
純損益	78,177			
累積欠損金	2,356,156			
経常収支比率	103.5		101.9	100.3
医業収支比率	64.2		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	20.5		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	34.6		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	20.5		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	82.3		89.3	84.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,048,397
1 固定資産	3,321,926
(1) 有形固定資産	3,255,241
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	66,685
2 流動資産	726,471
(1) 現金及び預金	436,935
(2) 未収金及び未収収益	279,129
(3) 貸倒引当金()	1,000
(4) 貯蔵品	11,406
3 繰延資産	-
負債合計	2,359,747
1 固定負債	1,102,192
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,102,192
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	433,749
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	231,194
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	87,929
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	104,550
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	823,806
(1) 長期前受金	2,034,523
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,210,717
資本合計	1,688,650
1 資本金	4,027,828
2 剰余金	-2,339,178
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,339,178
負債・資本合計	4,048,397
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	302,599	473,875
資本勘定繰入	146,921	152,923
計	449,520	626,798

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	172.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				千葉県
市町村・組合名	東庄町			
病院名	国保東庄病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	3,818 m ²	不採算地区中核病院		
診療科数	3	指定病院の状況	救	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上~100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	32	48.7	53.2	56.4
療養	48	64.7	68.3	65.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	80	58.3	62.3	61.7
平均在院日数(一般病床のみ)		18.7	16.5	15.1

設立団体の状況		
人口(人)	13,228	
決算規模(千円)	8,130,879	
標準財政規模(千円)	3,821,480	
財政力指数	0.47	
経常収支比率(%)	85.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,067,948			
1 経常収益	1,067,948			
(1) 医業収益	849,542			
入院収益	297,878			
外来収益	421,853			
診療収入計	719,731			
その他医業収益	129,811			
(うち他会計負担金)	42,587			
(2) 医業外収益	218,406			
(うち国・都道府県補助金)	32,412			
(うち他会計補助・負担金)	143,413			
(うち長期前受金戻入)	32,326			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,052,054			
2 経常費用	1,052,054			
(1) 医業費用	993,285			
職員給与費	492,216	57.9	62.1	78.9
材料費	253,828	29.9	25.3	15.6
(うち薬品費)	214,347	25.2	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	37,158	4.4	11.4	6.0
減価償却費	50,800	6.0	9.5	11.7
経費	193,880	22.8	22.7	31.2
(うち委託料)	139,171	16.4	12.6	14.3
研究研修費	1,499			
資産減耗費	1,062			
(2) 医業外費用	58,769			
(うち支払利息)	14,036	1.7	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	15,894			
純損益	15,894			
累積欠損金	965,182			
経常収支比率	101.5		101.9	100.3
医業収支比率	85.5		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	17.4		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	21.9		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	17.4		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	83.8		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,080,980
1 固定資産	756,444
(1) 有形固定資産	739,671
(2) 無形固定資産	187
(3) 投資その他の資産	16,586
2 流動資産	324,536
(1) 現金及び預金	152,138
(2) 未収金及び未収収益	164,649
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	7,749
3 繰延資産	-
負債合計	737,487
1 固定負債	468,121
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	468,121
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	169,470
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	88,684
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	47,620
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	99,896
(1) 長期前受金	536,915
(2) 長期前受金収益化累計額()	437,019
資本合計	343,493
1 資本金	1,308,675
2 剰余金	-965,182
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-965,182
負債・資本合計	1,080,980
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.2
修正医業収益(千円)	806,955

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	190,885	186,000
資本勘定繰入	56,611	71,650
計	247,496	257,650

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	113.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 千葉県	
市町村・組合名	横芝光町				
病院名	東陽病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,433 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	55	50.7	62.4	76.2
療養	40	68.0	51.1	61.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	95	58.0	57.4	69.4
平均在院日数(一般病床のみ)		15.7	17.3	16.4

設立団体の状況		
人口(人)	22,075	
決算規模(千円)	14,413,684	
標準財政規模(千円)	6,700,349	
財政力指数	0.47	
経常収支比率(%)	88.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.1
	将来負担比率(%)	7.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	62.7
修正医業収益(千円)	932,312

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,576,064			
1 経常収益	1,543,464			
(1) 医業収益	966,179			
入院収益	583,145			
外来収益	306,853			
診療収入計	889,998			
その他医業収益	76,181			
(うち他会計負担金)	33,867			
(2) 医業外収益	577,285			
(うち国・都道府県補助金)	63,803			
(うち他会計補助・負担金)	425,563			
(うち長期前受金戻入)	79,674			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	32,600			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,585,521			
2 経常費用	1,554,321			
(1) 医業費用	1,487,968			
職員給与費	865,965	89.6	62.1	78.9
材料費	118,399	12.3	25.3	15.6
(うち薬品費)	65,185	6.7	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	52,518	5.4	11.4	6.0
減価償却費	157,918	16.3	9.5	11.7
経費	328,527	34.0	22.7	31.2
(うち委託料)	169,614	17.6	12.6	14.3
研究研修費	2,121			
資産減耗費	15,038			
(2) 医業外費用	66,353			
(うち支払利息)	1,327	0.1	1.3	1.7
(3) 特別損失	31,200			
損益				
経常損益	-10,857			
純損益	-9,457			
累積欠損金	1,254,561			
経常収支比率	99.3		101.9	100.3
医業収支比率	64.9		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	29.8		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	47.6		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	29.2		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	69.7		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,075,159
1 固定資産	2,769,802
(1) 有形固定資産	2,505,732
(2) 無形固定資産	209,068
(3) 投資その他の資産	55,002
2 流動資産	305,357
(1) 現金及び預金	134,654
(2) 未収金及び未収収益	167,187
(3) 貸倒引当金()	449
(4) 貯蔵品	3,965
3 繰延資産	-
負債合計	1,434,619
1 固定負債	205,949
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	201,870
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	4,079
2 流動負債	196,587
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	69,671
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	57,757
(6) リース債務	4,079
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	59,794
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,032,083
(1) 長期前受金	1,978,607
(2) 長期前受金収益化累計額()	946,524
資本合計	1,640,540
1 資本金	2,895,051
2 剰余金	-1,254,511
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,254,511
負債・資本合計	3,075,159
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	459,430	459,430
資本勘定繰入	31,421	31,421
計	490,851	490,851

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	129.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名	鋸南町				
病院名	国保鋸南病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,389 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	32	64.3	73.8	63.3
療養	34	-	-	33.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	66	31.2	35.8	48.1
平均在院日数(一般病床のみ)		26.9	25.6	20.1

設立団体の状況		
人口(人)	6,993	
決算規模(千円)	7,449,859	
標準財政規模(千円)	2,943,334	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	86.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.2
	将来負担比率(%)	38.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	79,980			
1 経常収益	79,980			
(1) 医業収益	1,520			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	1,520			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	78,460			
(うち国・都道府県補助金)	760			
(うち他会計補助・負担金)	73,710			
(うち長期前受金戻入)	2,959			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	104,702			
2 経常費用	104,274			
(1) 医業費用	102,327			
職員給与費	-	-	62.1	78.9
材料費	-	-	25.3	15.6
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	6.0
減価償却費	27,167	1787.3	9.5	11.7
経費	75,160	4944.7	22.7	31.2
(うち委託料)	120	7.9	12.6	14.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,947			
(うち支払利息)	1,168	76.8	1.3	1.7
(3) 特別損失	428			
損益				
経常損益	-24,294			
純損益	-24,722			
累積欠損金	1,405,766			
経常収支比率	76.7		101.9	100.3
医業収支比率	1.5		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	92.2		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	4849.3		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	92.2		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	6.0		89.3	76.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	388,131
1 固定資産	374,848
(1) 有形固定資産	374,848
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	13,283
(1) 現金及び預金	13,283
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	102,927
1 固定負債	54,257
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,257
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	11,140
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,140
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	37,530
(1) 長期前受金	165,951
(2) 長期前受金収益化累計額()	128,421
資本合計	285,204
1 資本金	1,690,970
2 剰余金	-1,405,766
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,405,766
負債・資本合計	388,131
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	1.5
修正医業収益(千円)	1,520

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	70,777	73,710
資本勘定繰入	7,901	13,270
計	78,678	86,980

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	92484.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名	組合立国保成東病院				
病院名	国保成東病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収	全国平均	類似平均
総収益	5,961			
1 経常収益	5,961			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	5,961			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	5,961			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,961			
2 経常費用	5,961			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	63.5
材料費	-	-	25.3	24.9
(うち薬品費)	-	-	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	11.8
減価償却費	-	-	9.5	10.0
経費	-	-	22.7	21.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	5,961			
(うち支払利息)	5,961	-	1.3	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	101.7
医業収支比率	-		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	-		89.3	90.0

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,981	5,961
資本勘定繰入	53,726	107,452
計	56,707	113,413

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				千葉県
市町村・組合名	国保国吉病院組合			
病院名	いすみ医療センター			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	11,669 m ²	不採算地区中核病院		
診療科数	14	指定病院の状況	救感輪	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	100床以上~200床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	92	44.9	58.0	39.3
療養	48	73.0	71.0	64.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	44.0	-	-
計	144	54.2	60.7	46.5
平均在院日数(一般病床のみ)		19.7	18.0	15.7

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	69.0
修正医業収支(千円)	1,817,902

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,791,721			
1 経常収益	3,745,071			
(1) 医業収益	1,985,771			
入院収益	874,335			
外来収益	845,055			
診療収入計	1,719,390			
その他医業収益	266,381			
(うち他会計負担金)	167,869			
(2) 医業外収益	1,759,300			
(うち国・都道府県補助金)	774,675			
(うち他会計補助・負担金)	364,155			
(うち長期前受金戻入)	165,187			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	46,650			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,335,758			
2 経常費用	3,289,108			
(1) 医業費用	2,635,734			
職員給与費	1,594,375	80.3	62.1	67.4
材料費	320,511	16.1	25.3	17.7
(うち薬品費)	153,377	7.7	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	147,036	7.4	11.4	8.8
減価償却費	224,742	11.3	9.5	10.7
経費	491,145	24.7	22.7	29.2
(うち委託料)	200,575	10.1	12.6	13.9
研究研修費	2,600			
資産減耗費	2,361			
(2) 医業外費用	653,374			
(うち支払利息)	53,290	2.7	1.3	1.5
(3) 特別損失	46,650			
損益				
経常損益	455,963			
純損益	455,963			
累積欠損金	2,075,808			
経常収支比率	113.9		101.9	100.3
医業収支比率	75.3		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	14.2		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	26.8		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	14.0		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	97.7		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,408,614
1 固定資産	3,178,341
(1) 有形固定資産	3,065,731
(2) 無形固定資産	22,320
(3) 投資その他の資産	90,290
2 流動資産	1,230,273
(1) 現金及び預金	599,622
(2) 未収金及び未収収益	619,343
(3) 貸倒引当金()	859
(4) 貯蔵品	12,167
3 繰延資産	-
負債合計	3,636,168
1 固定負債	2,682,792
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,682,792
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	496,464
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	217,116
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	121,927
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	156,286
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	456,912
(1) 長期前受金	1,711,100
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,254,188
資本合計	772,446
1 資本金	2,841,714
2 剰余金	-2,069,268
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,069,268
負債・資本合計	4,408,614
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	399,692	532,024
資本勘定繰入	151,899	149,116
計	551,591	681,140

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	104.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				千葉県
市町村・組合名	君津中央病院企業団			
病院名	君津中央病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	52,379 m ²	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	33	指定病院の状況	救臨が感災地	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	500床以上	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	636	74.0	80.6	82.6
療養	-	-	-	-
結核	18	17.0	15.4	15.9
精神	-	-	-	-
感染症	6	36.2	-	-
計	660	72.1	78.1	80.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	11.4	11.4

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.9
修正医業収支(千円)	19,090,323

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	23,515,304			
1 経常収益	22,889,637			
(1) 医業収益	19,142,916			
入院収益	13,061,493			
外来収益	5,526,529			
診療収入計	18,588,022			
その他医業収益	554,894			
(うち他会計負担金)	52,593			
(2) 医業外収益	3,746,721			
(うち国・都道府県補助金)	1,555,346			
(うち他会計補助・負担金)	1,675,763			
(うち長期前受金戻入)	73,883			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	625,667			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	22,695,903			
2 経常費用	22,054,146			
(1) 医業費用	20,559,294			
職員給与費	11,189,005	58.4	62.1	55.8
材料費	5,523,221	28.9	25.3	29.8
(うち薬品費)	1,955,120	10.2	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,479,540	18.2	11.4	13.0
減価償却費	1,162,523	6.1	9.5	8.7
経費	2,523,057	13.2	22.7	19.7
(うち委託料)	1,249,090	6.5	12.6	12.6
研究研修費	52,104			
資産減耗費	109,384			
(2) 医業外費用	1,494,852			
(うち支払利息)	194,893	1.0	1.3	1.2
(3) 特別損失	641,757			
損益				
経常損益	835,491			
純損益	819,401			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.8		101.9	102.5
医業収支比率	93.1		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	7.6		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	9.0		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	7.3		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	96.0		89.3	93.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	25,919,593
1 固定資産	19,141,299
(1) 有形固定資産	18,725,154
(2) 無形固定資産	18,173
(3) 投資その他の資産	397,972
2 流動資産	6,778,294
(1) 現金及び預金	2,480,182
(2) 未収金及び未収収益	4,193,366
(3) 貸倒引当金()	19,905
(4) 貯蔵品	109,033
3 繰延資産	-
負債合計	21,299,032
1 固定負債	16,053,742
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,234,937
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,517,988
(7) リース債務	300,817
2 流動負債	3,761,068
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,513,849
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	694,325
(6) リース債務	16,106
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,423,479
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,484,222
(1) 長期前受金	4,089,654
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,605,432
資本合計	4,620,561
1 資本金	3,158,677
2 剰余金	1,461,884
(1) 資本金剰余金	16,551
(2) 利益剰余金	1,445,333
負債・資本合計	25,919,593
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,929,517	1,728,356
資本勘定繰入	954,595	-
計	2,884,112	1,728,356

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名	君津中央病院企業団				
病院名	君津中央病院大佐和分院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,116 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	36	72.5	89.6	88.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	36	72.5	89.6	88.6
平均在院日数(一般病床のみ)		17.9	17.7	16.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.1
修正医業収益(千円)	570,041

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	630,726			
1 経常収益	626,808			
(1) 医業収益	570,041			
入院収益	281,983			
外来収益	261,984			
診療収入計	543,967			
その他医業収益	26,074			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	56,767			
(うち国・都道府県補助金)	4,354			
(うち他会計補助・負担金)	32,000			
(うち長期前受金戻入)	4,440			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,918			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	707,879			
2 経常費用	702,196			
(1) 医業費用	685,969			
職員給与費	507,366	89.0	62.1	89.0
材料費	64,579	11.3	25.3	14.0
(うち薬品費)	20,374	3.6	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	36,969	6.5	11.4	5.4
減価償却費	36,453	6.4	9.5	13.0
経費	76,215	13.4	22.7	47.1
(うち委託料)	28,760	5.0	12.6	22.5
研究研修費	791			
資産減耗費	565			
(2) 医業外費用	16,227			
(うち支払利息)	-	-	1.3	1.3
(3) 特別損失	5,683			
損益				
経常損益	-75,388			
純損益	-77,153			
累積欠損金	77,153			
経常収支比率	89.3		101.9	98.5
医業収支比率	83.1		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	5.1		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	5.6		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	5.1		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	84.7		89.3	64.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	25,919,593
1 固定資産	19,141,299
(1) 有形固定資産	18,725,154
(2) 無形固定資産	18,173
(3) 投資その他の資産	397,972
2 流動資産	6,778,294
(1) 現金及び預金	2,480,182
(2) 未収金及び未収収益	4,193,366
(3) 貸倒引当金()	19,905
(4) 貯蔵品	109,033
3 繰延資産	-
負債合計	21,299,032
1 固定負債	16,053,742
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,234,937
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,517,988
(7) リース債務	300,817
2 流動負債	3,761,068
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,513,849
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	694,325
(6) リース債務	16,106
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,423,479
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,484,222
(1) 長期前受金	4,089,654
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,605,432
資本合計	4,620,561
1 資本金	3,158,677
2 剰余金	1,461,884
(1) 資本金剰余金	16,551
(2) 利益剰余金	1,445,333
負債・資本合計	25,919,593
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	102,797	32,000
資本勘定繰入	4,917	-
計	107,714	32,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				千葉県	
市町村・組合名	長生郡市広域市町村圏組合(事業会計分)				
病院名	公立長生病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,701 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	180	46.6	51.2	52.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	180	46.6	51.2	52.7
平均在院日数(一般病床のみ)		16.7	15.3	14.7

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.4
修正医業収益(千円)	2,095,618

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,081,012			
1 経常収益	2,981,871			
(1) 医業収益	2,243,619			
入院収益	1,244,785			
外来収益	733,839			
診療収入計	1,978,624			
その他医業収益	264,995			
(うち他会計負担金)	148,001			
(2) 医業外収益	738,252			
(うち国・都道府県補助金)	14,341			
(うち他会計補助・負担金)	588,660			
(うち長期前受金戻入)	109,250			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	99,141			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,132,178			
2 経常費用	3,057,115			
(1) 医業費用	2,934,143			
職員給与費	1,743,528	77.7	62.1	67.4
材料費	400,185	17.8	25.3	17.7
(うち薬品費)	220,249	9.8	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	179,936	8.0	11.4	8.8
減価償却費	189,055	8.4	9.5	10.7
経費	584,532	26.1	22.7	29.2
(うち委託料)	259,701	11.6	12.6	13.9
研究研修費	3,650			
資産減耗費	13,193			
(2) 医業外費用	122,972			
(うち支払利息)	5,756	0.3	1.3	1.5
(3) 特別損失	75,063			
損益				
経常損益	-75,244			
純損益	-51,166			
累積欠損金	4,370,149			
経常収支比率	97.5		101.9	100.3
医業収支比率	76.5		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	24.7		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	32.8		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	23.9		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	73.4		89.3	84.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,326,146
1 固定資産	2,535,526
(1) 有形固定資産	2,446,881
(2) 無形固定資産	115
(3) 投資その他の資産	88,530
2 流動資産	790,620
(1) 現金及び預金	431,286
(2) 未収金及び未収収益	327,343
(3) 貸倒引当金()	16,784
(4) 貯蔵品	48,775
3 繰延資産	-
負債合計	2,812,189
1 固定負債	425,062
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	393,449
(2) その他の企業債	31,613
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	279,903
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	23,405
(2) その他の企業債	10,464
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	119,534
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	109,182
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,107,224
(1) 長期前受金	4,705,548
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,598,324
資本合計	513,957
1 資本金	4,877,606
2 剰余金	-4,367,649
(1) 資本金剰余金	3,500
(2) 利益剰余金	-4,367,149
負債・資本合計	3,326,146
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	450,035	736,661
資本勘定繰入	52,055	52,055
計	502,090	788,716

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	194.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。